

キーワード：

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立青柳小学校

1 課題

- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着
- 考えをすすんで表現する力の育成
- 文章の内容を読み取る力の向上

2 課題解決の具体策

- (1) 個に応じた様々な指導方法を取り入れた学習過程
- (2) 小集団での話し合い活動を取り入れた学習過程（校内研修の充実）
- (3) 朝読書や読書週間など読書活動の推進

3 取組の概要

(1) について

教育支援員や加配教諭を積極的に活用し、チームティーチングや少人数指導などできるだけ一人一人の子どもに応じた指導や支援ができるよう努めている。また、学年を追うことに定着度に個人差がある算数科では算数的活動の時間を十分に保障し、一人一人が自分なりの方法で課題解決にじっくりと取り組めるようにしている。さらに、レディネスをとり、子どもがつまづきそうな部分をできる限り予測し、スモールステップをふんだ学習過程を計画するよう努めている。

- 加配教諭の活用（TT授業：2～6年生）
- 特別支援教育支援員の活用
- 教育支援員の活用（知恵の予算）
- 長期休業中の学習会の実施



(2) について

国語科を中心に話し合い活動を意図的に学習過程の中に取り入れた授業の実践に努めている。話し合いの場を小集団にすることで、話すことに苦手意識をもっている子に安心感を与え、一人一人の子どもに、より多くの話す機会が与えられ自分の考えを表現することに慣れることがねらいである。

さらには、話したり、聞いたりすることで自分の考えをより明確にしたり、深めたり、修正したりすることもできると考える。

○研究主題「読解力を身につけ、生き生きと表現する子どもの育成」
～国語科を窓口とした読解力を身につける3つの活動を通して～

- ① 様々なテキストに触れる機会を多くするなど読書活動を充実させ、読書経験を積むことにより、児童一人一人の読む力を高める。【受信】
- ② 学習過程の中に考える時間と場を十分確保することにより、児童一人一人の考える力を高める。【関連付け】
- ③ 学習過程の中に意図的に意見を述べたり書いたりする活動を取り入れることにより、自分の考えをより明確にしたり、深めたりすることができる。【発信】



(3) について

毎週1回全校一斉の朝読書に継続して取り組むとともに、11月には校内の読書週間を設定し、教職員やボランティアによる本の読み聞かせ集会を実施したり図書委員会主催の読書集会を行い、読書に親しむ取り組みを一年を通して行っている。

また、学校図書や学級文庫の充実に努め、読書の機会を増やしていくことで書かれている内容を読み取る力や多様な文章表現に対する理解力を身につけさせている。



4 成果と課題

- 研究主題の解決に向け共通理解が図られ、児童の学力向上に向けて授業づくりができた。また、個に応じた指導により、学習意欲に高まりが見られた。
- 話し合い活動に継続的に取り組んだことで、表現することに消極的だった子も小集団の中では安心して意見を言うようになってきた。また、話し合いの内容も自分の考えとの相違点を見つけたり、友達の考えの良さを発見するなどお互いを高めあう活動内容になってきた。
- 読書活動が定着し、興味をもって読書する児童が増えてきた。
- 課題解決や話し合い活動の時間を十分に確保することはなかなか難しい。この取組により学習内容の定着につながっていくようにすることも課題である。
- 読書習慣の定着に向け、家庭への啓発活動がやや足りなかったため、PTAとしての活動の必要性を感じている。